

iFree レバレッジ FANG+

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）		
信託期間	無期限		
運用方針	日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行ないます。		
主 要 投資対象	ベビーファンド	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（円建）、ETF（上場投資信託証券）、ETN（上場投資証券）、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）、米国の債券、わが国の債券、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券および米国の株価指数先物取引	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組 入 上 限 比 率	無制限	
	ベ ビ ー フ ァ ン ド の株 式 実 質 組 入 上 限 比 率		
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

運用報告書(全体版) 第1期

（決算日 2021年8月18日）

（作成対象期間 2020年8月19日～2021年8月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			NYSE FANG+指数 (米ドルベース)		公 社 債 入 率 組 比	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
1 期末 (2021年 8月18日)	16, 632	0	66. 3	13, 508	35. 1	99. 3	6, 761

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) NYSE FANG+指数 (米ドルベース) は、NYSE FANG+指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10, 000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

NYSE® FANG+™ は、ICE Data Indices, LLC またはその関連会社 (以下「ICE データ」) の登録商標であり、NYSE® FANG+™ 指数および NYSE® FANG+™ 指数 (円ベース) (以下「指数」) を利用するライセンスが iFree レバレッジ FANG+ (以下「ファンド」) において、大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。大和アセットマネジメント株式会社およびファンドは、ICE データによってスポンサー、販売、または販売促進されているものではなく、ICE データは、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追従することについて、いかなる表明保証を行うものではありません。

ICE データおよびその第三者供給元は、明示または黙示の保証を行わず、インデックス、インデックスの値またはそれに含まれるすべてのデータに関して、商品性または特定の目的への適合性のすべての保証を明示的に否認します。ICE データは、たとえそのような損害の可能性について、特別、懲罰的損害、直接的、間接的、または結果的損害 (利益の損失を含む) に対する責任は通知されていたとしても一切負いません。

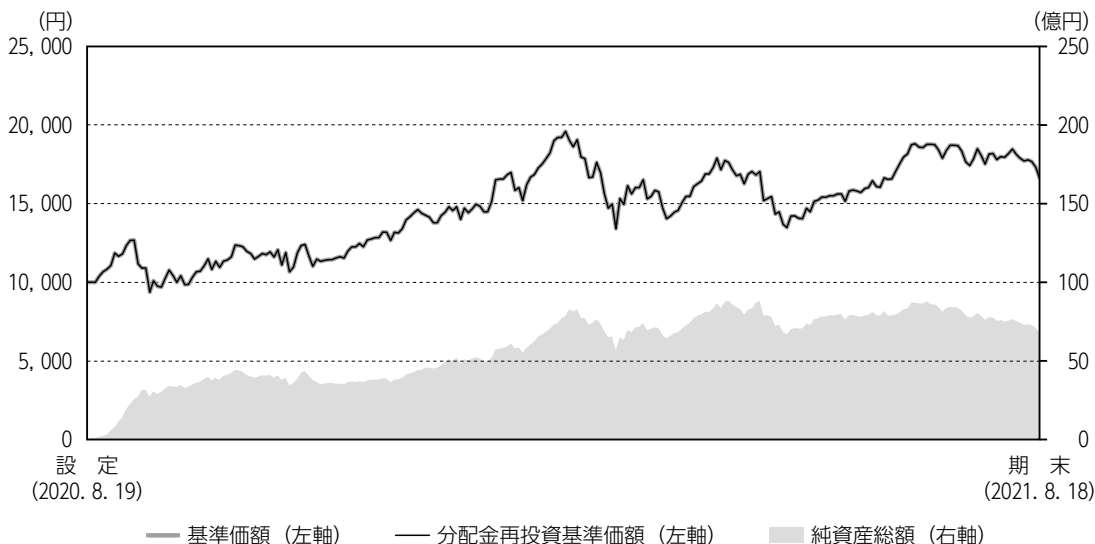
“NYSE® FANG+™” is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates (“ICE Data”) and has been licensed along with the NYSE® FANG+™ Index and NYSE® FANG+™ Index (JPY) (“Indexes”) for use by DAIWA ASSET MANAGEMENT in connection with IFREE LEVERAGED FANG+ (the “Fund”). Neither DAIWA ASSET MANAGEMENT nor the Fund, as applicable, are sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data. ICE Data makes no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Fund particularly or the ability of the Indexes to track general stock market performance.

ICE DATA AND ITS RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS MAKE NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE WITH RESPECT TO THE INDEXES, INDEX VALUES OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. IN NO EVENT SHALL ICE DATA HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：16,632円（分配金 0 円）

騰落率：66.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きが NYSE FANG+ 指数（米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざした運用を行った結果、NYSE FANG+ 指数で組み入れているハイテク銘柄が上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFree レバレッジ FANG+

年 月 日	基 準 価 額		NYSE FANG + 指数 (米ドルベース)		公 社 債 組 入 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首) 2020年 8 月19日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —
8 月末	11,805	18.1	10,879	8.8	128.9
9 月末	10,703	7.0	10,416	4.2	101.5
10月末	11,883	18.8	10,975	9.7	97.9
11月末	12,469	24.7	11,299	13.0	99.5
12月末	14,453	44.5	12,219	22.2	100.8
2021年 1 月末	16,016	60.2	12,923	29.2	99.1
2 月末	16,658	66.6	13,263	32.6	100.7
3 月末	14,580	45.8	12,482	24.8	99.8
4 月末	17,044	70.4	13,556	35.6	99.8
5 月末	15,507	55.1	12,981	29.8	99.7
6 月末	18,811	88.1	14,327	43.3	100.2
7 月末	18,187	81.9	14,109	41.1	99.3
(期 末) 2021年 8 月18日	16,632	66.3	13,508	35.1	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 8. 19 ~ 2021. 8. 18)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国の追加景気対策への期待などを背景に上昇しました。2020年9月以降は、米国の景気回復に対して懐疑的な見方が広がったことなどを受け、上値の重い展開となりました。11月以降は、米国大統領選挙の結果に対する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチンへの開発期待を受け、上昇しました。2021年2月以降は、米国における金利上昇への懸念などから調整する局面もありましたが、米国において新規感染者数の減少傾向が鮮明となったことに加え、ワクチン接種が着実に進んでいることが投資家心理を改善させ、上昇して当作成期末を迎えました。

ポートフォリオについて

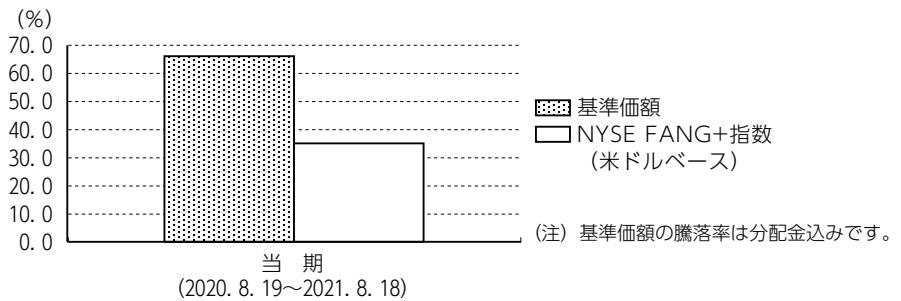
(2020. 8. 19 ~ 2021. 8. 18)

■当ファンド

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（円建）（以下「パフォーマンス連動債券」といいます。）への投資割合を高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年 8 月19日 ～2021年 8 月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	6,632

(注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主にパフォーマンス連動債券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きが NYSE FANG+ 指数（米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

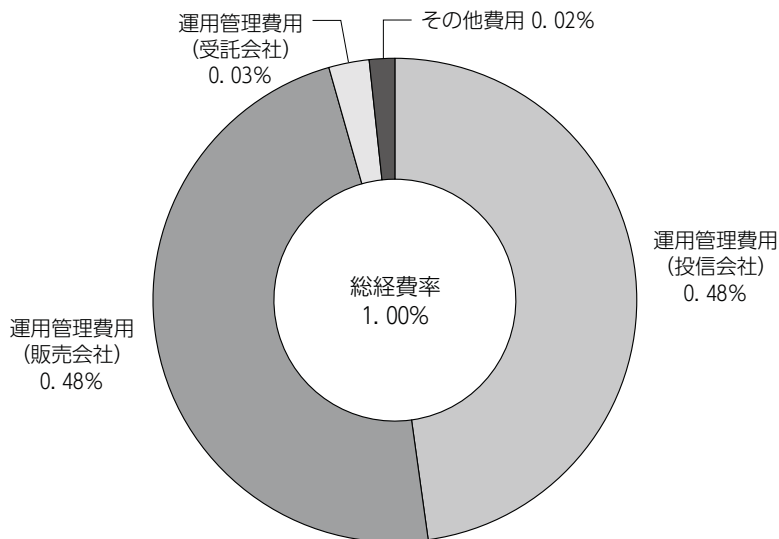
項 目	当 期 (2020. 8. 19～2021. 8. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	145円	0. 984%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14, 752円です。
(投 信 会 社)	(71)	(0. 478)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0. 478)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0. 017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	148	1. 001	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.00%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■組入資産明細表

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当 期 末						
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
普通社債券	千円 3,982,000	千円 6,715,244	% 99.3	% —	% —	% 99.3	% —

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当 期 末					
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
普通社債券	Star Helios Plc	% 0.0000	千円 3,982,000	千円 6,715,244	2023/08/18

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年8月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,715,244	% 97.4
コール・ローン等、その他	181,597	2.6
投資信託財産総額	6,896,841	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年8月18日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	6,896,841,921円
コール・ローン等	68,975,421
公社債（評価額）	6,715,244,800
未収入金	112,621,700
(B)負債	135,079,816
未払解約金	96,963,539
未払信託報酬	37,799,604
その他未払費用	316,673
(C)純資産総額（A－B）	6,761,762,105
元本	4,065,426,156
次期繰越損益金	2,696,335,949
(D)受益権総口数	4,065,426,156口
1万口当り基準価額（C／D）	16,632円

* 期首における元本額は100,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は14,236,656,329円、同解約元本額は10,271,230,173円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,632円です。

■損益の状況

当期 自2020年 8月19日 至2021年 8月18日

項 目	当 期
(A)配当等収益	△ 26,012円
受取利息	55,023
支払利息	△ 81,035
(B)有価証券売買損益	374,710,121
売買益	1,734,212,535
売買損	△ 1,359,502,414
(C)信託報酬等	△ 58,933,420
(D)当期損益金 (A + B + C)	315,750,689
(E)追加信託差損益金	2,380,585,260
(配当等相当額)	(△ 109,210)
(売買損益相当額)	(2,380,694,470)
(F)合計 (D + E)	2,696,335,949
次期繰越損益金 (F)	2,696,335,949
追加信託差損益金	2,380,585,260
(配当等相当額)	(△ 109,210)
(売買損益相当額)	(2,380,694,470)
分配準備積立金	315,776,701
繰越損益金	△ 26,012

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	315,776,701
(c) 収益調整金	2,380,694,470
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,696,471,171
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,696,471,171
(h) 受益権総口数	4,065,426,156口

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第12期（決算日 2020年12月9日）

（作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

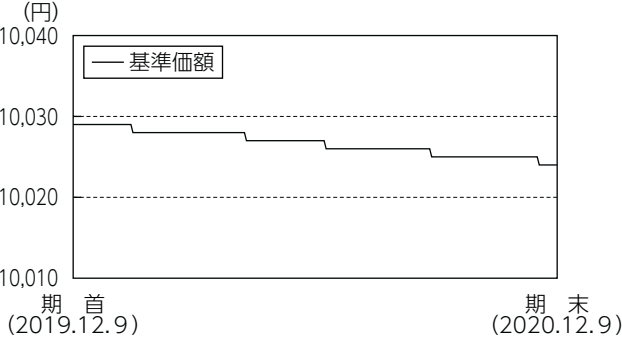
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
	10,029	—	—
12月末	10,029	0.0	—
2020年1月末	10,028	△0.0	—
2月末	10,028	△0.0	—
3月末	10,028	△0.0	—
4月末	10,027	△0.0	—
5月末	10,027	△0.0	—
6月末	10,026	△0.0	—
7月末	10,026	△0.0	—
8月末	10,026	△0.0	—
9月末	10,025	△0.0	—
10月末	10,025	△0.0	—
11月末	10,024	△0.0	—
(期末)2020年12月9日	10,024	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,029円 期末：10,024円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については掲掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■ 投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	73,499,280	100.0
投資信託財産総額	73,499,280	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	73,499,280,005円
コール・ローン等	73,499,280,005
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A－B)	73,499,280,005
元本	73,320,433,569
次期繰越損益金	178,846,436
(D) 受益権総口数	73,320,433,569口
1万口当り基準価額(C／D)	10,024円

* 期首における元本額は38,285,006,118円、当作成期間中における追加設定元本額は92,065,519,457円、同解約元本額は57,030,092,006円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）7,165,012,965円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）12,332,468,365円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、ダイワ・リートベア・ファンド（適格機関投資家専用）1,215,141,541円、ダイワ／パリュール・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス9,976円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、N Y ダウ・トリプル・レバレッジ209,466,367円、世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）998円、世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）998円、FANG+プルベア・マネーポートフォリオ992,420円、AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）6,417,784,873円、ダイワユーロベア・ファンド2（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）9,837,126,024円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）29,412,815,332円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）1,582,648,295円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド2,417,017円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOP I Xベア・ファンド（適格機関投資家専用）5,141,916,506円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－U S トライアングル－ 997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－ 173,802円で

す。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,024円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,774,653円
受取利息	1,464,675
支払利息	△ 30,239,328
(B) その他費用	△ 1,598,733
(C) 当期損益金(A+B)	△ 30,373,386
(D) 前期繰越損益金	112,547,273
(E) 解約差損益金	△154,205,994
(F) 追加信託差損益金	250,878,543
(G) 合計(C+D+E+F)	178,846,436
次期繰越損益金(G)	178,846,436

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。